



取扱説明書

測定方法

おでこ(額部)から15mm~50mm離して測定する



操作方法



電源を入れる

電源OFF状態で「SCAN」ボタンを短く押す



測定準備

おでこ(額部)から15mm~50mm離れた場所に測定センサーを位置するように保持する



測定開始

「SCAN」ボタンを約1秒押し、電子音「ピッ」が鳴る



測定結果を確認する

画面に測定温度が表示される



電源OFF

電源のついた状態で「SCAN」ボタンを5秒押す

①

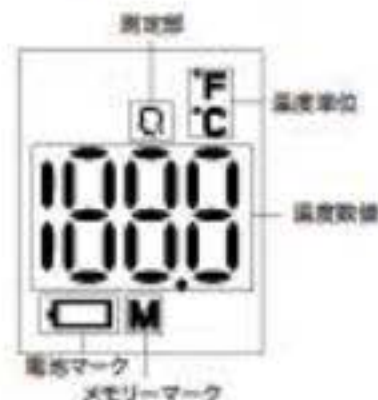
取扱説明書

△ [注意]

- 本製品の操作できる温度環境は16℃~35℃
 - 本製品を温度の高低が極端な環境(-20℃以下/55℃以上)または湿度が極めて高い環境(>93%RH)で使用しないでください
 - 測定の精度を保つために測定部のレンズ部を割ったり傷をつけないでください
 - 本製品は家庭とクリニック用になる
 - 製品は実物を基準にしてください、イラストは参考用イメージになる
 - 本製品の商標については各市町村の条例に従って行ってください
- 各部の名称: 温度測定部、液晶表示部、本体(電池フタなど)、SCAN(測定)ボタン
 検温方式: 非接触赤外線式
 測定の禁忌: 炎症のある傷口や手術後の局所の検温



液晶表示部(ディスプレイ)情報



- 温度測定(測定部)表示: 人体の前額部より測定することを示す
- 温度単位表示: 体温を示す単位「℃」を表す
- 測定数値表示: 測定完了後に表示される数値を示す
- 電池残量表示: 電池量が不足の場合、当該マークが電池交換の必要有無を示す
- メモリー表示: 記録された体温測定値を確認していることを示す

電池の取り付けと取り外し

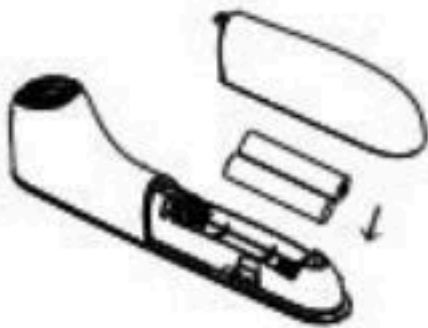
バッテリーローマークが表示されたら、速やかに電池交換をしてください。手順は以下通り:

- 商品の電池フタ(本体背面)を斜め上へスライドすればフタを開けられる。



②

■「+」の向きに注意しながら、単4電池2本を取り付けて電池フタを開める



注意:

長時間使用しない場合、本器から電池を取り出す
環境保全のため、使用済み電池は各市町村の条例に基づいて処理してください

△ 正確な測定方法

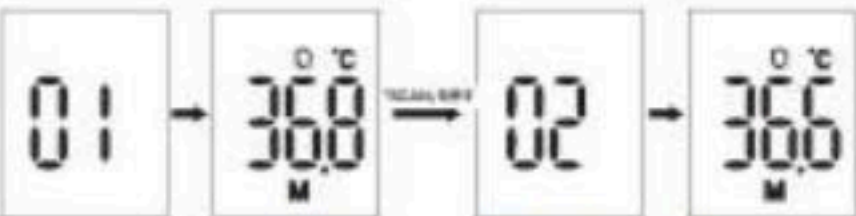
- 1 本器をより正確に使用できるよう、測定はまず自身で行うことをすすめる。
- 2 測定の精度を保つべく、使用の本器を室内温度が約16℃～35℃の環境で30分以上置き、経過した後に測定を行ってください。
- 3 測定を受ける方は室温(16℃～35℃)で20分以上滞在し、平衡温に達してから測定を行う
- 4 運動後の測定は30分の休憩をとった上、平衡温に達してから測定を行う
- 5 連続して測定の場合、温度測定部を各回毎に熱からずらして行ってください。また、正確な測定結果を得るために、各回の測定は5秒毎の間隔で行ってください。
- 6 一般的に正確な測定数値は35.5℃～37.8℃、測定者は日常において自ら体温管理を行った方がおすす。異常な数値を得られた場合は医師に相談する。
- 7 測定を行う前、正確な測定数値を得るために、温度測定部に汚れが付いているかを確認しよう。

正確な測定姿勢



おでこ(額部)から
15mm～50mm離して測定する

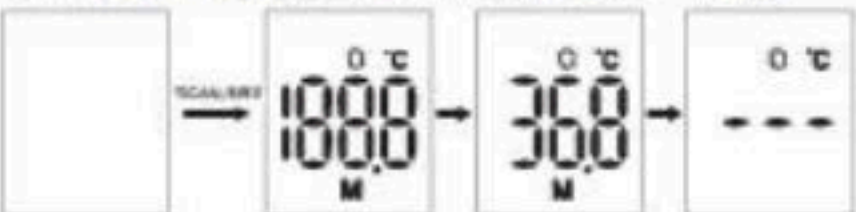
電源OFFの状態、「SCAN」ボタンを4秒押し、「01」～「368」がディスプレイに表示され、記録された体温測定値を確認するモードになる。
再度「SCAN」ボタンを押すと、記録された数値を繰り返し確認することができる。(全32組)



何も動作しない場合、12秒経ったら電源が自動OFFになる

測定モード

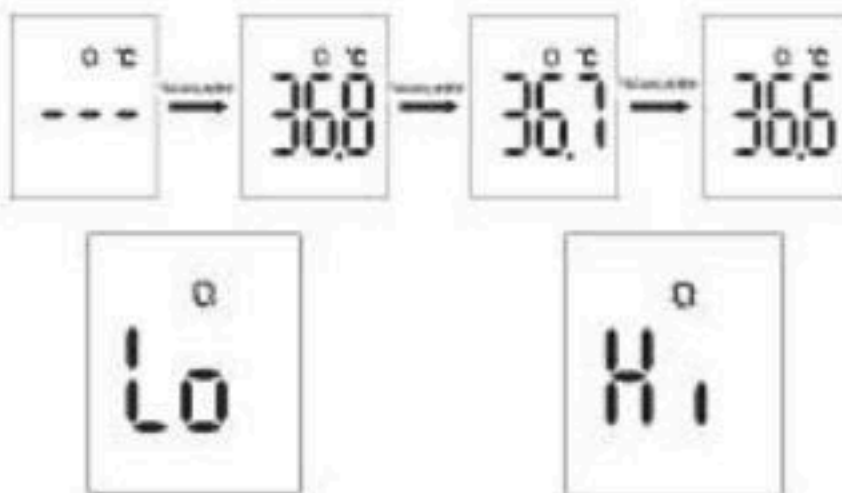
電源OFFでは何も表示されない。「SCAN」ボタンを短く押し、全画面の状態
で1S経過後、前回の測定数値が1秒表示されてから測定モードになる



測定モードになってから、本器をおでこ(額部)に向け、「SCAN」ボタンを押す
約1秒後、「ビッ」と電子音が鳴り、測定が完了し、ディスプレイに表示される温度数値を
確認できる

測定温度が32℃を下回った場合、「Lo」マークが表示され、「ビッ」の電子音が2回鳴る
測定温度が37.8℃を上回った場合、「Hi」の電子音が連続して6回鳴る。熱があって、
医師の診察が必要になる

測定温度が42.2℃を上回った場合、「ビッ」の電子音が2回鳴る



測定温度が32℃を下回る

測定温度が42.2℃を上回る

「SCAN」ボタンを5秒押し、画面表示が消え、電源OFF状態になる
不操作が60秒経った場合、電源が自動的にOFFになる

製品及び包装標識

- BFタイプ リサイクル
- 10 エコ使用期限10年
- 測定/ON&OFFボタン
- 計量器具タイプ承認

警告、ユーザーが取扱い説明を確認する必要があると警告される表示

△ 本体のお手入れ

- 分解しないでください。
- 汚れがひどい場合は、布またはアルコールがついた綿棒でレンズを拭き取ってください。
- 拭き取った後はアルコールが乾いた後に本器を使用してください。
- 火気、湿気、直射日光、埃、塩分、傾斜、振動、衝撃などを避け安全な所に保管してください。

エラーメッセージ

表示メッセージ	想定原因
測定ボタンを押しても反応がない	電池切れ、電池を交換してください、または電池の挿入に誤りがあった
	低電圧表示、電池を交換してください
ErrE	EEPROM異常、販売先に連絡してください
Errr	センサー異常、販売先に連絡してください
H ₁	測定モードで、測定温度が42.2°C(108°F)を上回った
Lo	測定モードで、測定温度が32°C(89.6°F)を下回った
ErrH	おかれている環境の気温が高い
ErrL	おかれている環境の気温が低い

性能または仕様項目

製品名称:赤外線式非接触計温器

型番/規格:AET-R1D1

測定温度範囲:32°C-42.2°C

測定誤差レンジ:±0.2°C(32°C-42.2°C)

±0.3°C(32°C~34.9°C-42.1°C~42.2°C)

温度表示最小単位:0.1°C

メモリー容量:32組

操作環境温度:16°C~35°C

相対湿度が15%~80%

気圧:(70~106)kPa

保管環境温度:-20°C~+55°C

相対湿度が15%~93%

気圧:(70~106)kPa

電源:単四電池2本

外寸:37mm x 37mm x 138mm

本体重量:約47g(電池を除く)

自動電源OFF:約1分間不操作

内容物:本体1台、取扱説明書1部、保証書1部

⚠ 注意事項

- 当該製品は人体の前額部より測定することで計温をする
- 測定時、電子音が鳴ってから表示される温度を確認する
- メンテナンスの一環として、綿棒で少量のアルコールをつけて本器レンズを試いてください。そうすることで汚れによる温度測定のエラーを避けることができます
- 故障の原因になるため、本器を強く振動させたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください

有害物質説明表

製品の危険物質含有種類及び量

部品名称	危険物質					
	鉛(Pb)	水銀(Hg)	カドミウム(Cd)	六価クロム(Cr(VI))	多環化芳香族(PBB)	多環化芳香族(PBDE)
カバー	0	0	0	0	0	0
半導体部品	X	0	0	0	0	0
包装材料	0	0	0	0	0	0
電池	アルカリ電池	0	0	0	0	0
	リチウム電池	X	X	0	0	0
備考	<p>0: 本機は5J/T11364の規定に基づいて作成 本機の商品の全ての材質材料における危険物質の含有量が、GB/T26572で規定された制限条件を下回っていることを示す</p> <p>X: 少なくとも商品の材質材料における危険物質の含有量が、GB/T26572で規定された制限条件を超えていることを示す</p>					

安全特徴

本器と他のデバイスとの間の潜在的な電磁干渉または他の干渉は、GB9706.1-2007の要件を満たしている

番号	分類	製品分類情報
1	耐衝撃の種類によって分類する	内部電源装置
2	耐衝撃のレベルによって分類する	BFタイプ
3	液体浸食の防護レベルによって分類する	液体浸食保護なし
4	消毒、殺菌方式	アルコール
5	空気と混合した可燃性麻醉ガス、または酸素または窒素と混合した可燃性麻醉ガスの下で使用した場合の安全度に応じて分類	非APタイプ設備とAPG設備
6	作動モードによって分類する	連続作動